

2025年度日本語教育学会 秋季大会一般公開プログラム

共生社会と日本語教育 ～何のために日本語教育はあるべきか～

2025年11月22日（土）10：00～12：00

富山国際会議場（富山県富山市）

定員：700名 事前申込不要

（どなたでもご参加いただけます）

参加費
無料

外国人住民が増加している現在、これからの「共生社会」における日本語教育はどのような方向に進むべきなのでしょうか。日本の人口動向、外国人集住都市の取り組み、当事者の経験を通し、日本語教育は何ができるのかについて一緒に考えます。

プログラム

現在の日本とこれからの日本－外国人数の変化から－
是川 夕 氏（国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部長）

浜松市日本語学習支援事業のあゆみとこれから～外国人集住都市の実践から～
内山 夕輝 氏（公益財団法人 浜松国際交流協会 主幹）

私の「ライフ」と日本語、そして、「これからの外国人」と日本語
山口 クリセルダ 氏（富山アジア経済技術協同組合職員 通訳・生活指導担当）

これからの共生社会で、日本語教育は何ができるのか
神吉 宇一 氏（武蔵野大学 学外学修推進センター センター長／グローバル学部 教授）
進行・趣旨説明：栗又由利子（株式会社 きぼう国際外語学院 主任講師）

※当日の質問・コメントはオンラインでのみ受け付けます。会場のWi-Fiはつながりにくい場合がありますので、申し訳ありませんがスマートフォン等をご持参ください。

